

町の情報誌

広報 たまむら

TAMAMURA

11

2021(令和3)年
No.606

主な内容

Contents

変わる高校 変わる高校 ～玉村高校～ P2～7

令和2年度 決算報告 P8～11

ぐんまクチン手帳が始まります P12

みんなが主役 P14～15

子育て応援コーナー P20 お知らせ P22～25



チャレンジ!
チェンジ!
チャンス!

～ここが新たなスタートライン～

変わる高校 変われる高校

～ 玉村高校 ～

玉村町に位置する「群馬県立玉村高校」。来年10月1日に創立100周年を迎えます。全校生徒が226人と小規模な高校ですが、先生と生徒が信頼関係のもと、日々充実した高校生活が展開されています。

今まで玉村高校のイメージだけが先行し、実際どんな高校なのか知らない町民の皆さんも多いかと思います。今回は特集を通じて、玉村高校を少しでも知っていただき、地域に高校がある「意味」について考えてみてください。

廃校危機を乗り越えて

現在は、県立高校として運営していますが、大正11年（1922年）に、玉村実業補習学校女子部通年科として、当時の玉村町が設立しました。その後何度か名称などが変更となり、一度は廃校の危機もありましたが、昭和23年（1948年）に群馬県立佐波農業高等学校玉村分校として、町立から県立に移管されました。（次ページの学校沿革史参照）その後、昭和34年（1959年）4月1日に、群馬県立玉村高等学校として認可されることとなります。

平成17年（2005年）に

■学校沿革史

大正11年 4月1日	玉村実業補習学校女子部通年科として開校
大正12年 9月17日	玉村実践女学校認可
昭和10年 9月1日	玉村実科女学校認可
昭和15年 6月18日	群馬県玉村高等実科女学校と改称
昭和23年 4月1日	学制改革により廃校
昭和23年 10月1日	群馬県立佐波農業高等学校玉村分校として認可
昭和27年 10月29日	現在の与六分の地に新校舎全面移転
昭和34年 4月1日	群馬県立玉村高等学校として認可



高校モニュメント



そんな危機に直面した玉村高校ですが、町教育長などの町関係者、校長、同窓会長、小・中学校長、町PTA連絡協議会、区長会などで構成される玉村高等学校活性化協議会が「地域に信頼され期待され貢献できる高校、地域の子どもたちが自ら進んで志願する高校の実現」に向けての学校改革の具体策「玉高チャレンジプラン」をまとめあげました。これにより、群馬県から先進的な取り組みを行う新しいタイプの高校として「ぐんまチャレンジ・ハイスクール」に指定されました。具体的には、読む、書く、発表する力を育成する「教養表現」の教科を導入。「総合

ぐんま チャレンジ・ハイスクール

は財政難や少子化などの影響で、学校改革が大きな課題としてつきつけられました。

Interview

地域に支えられた高校



玉村高校校長 たかお ひろし 高尾 博さん

玉村高校は地域の皆さんに支えられ、創立99年を迎えました。卒業生は9,700人を超え、各分野で活躍しています。本校の校訓は「誠実」「勇氣」「奉仕」であり、全職員が一丸となって生徒と向き合っています。チャレンジ精神と伝統を受け継ぎ、地域社会に信頼され、期待され、貢献できる学校を目指していきます。

チャレンジ精神

的な探究の時間」「特別活動」と連動し、生徒の基礎基本、コミュニケーション力、進路選択力を育成するという独自のカリキュラムです。

玉村高校の歴代の敷地は約400年前、伊奈忠次と和田

Interview

にぎわいのある玉村高校に



同窓会長 くらばやし みちお 倉林 教夫さん

約45年前に玉村高校を卒業しました。当時は現在より生徒が2倍ほどいて、高校がにぎわっていた記憶があります。

これからの玉村高校生には、明るく元気に生活し、人の気持ちがわかるような人になってほしいです。そして玉村高校らしいにぎわいのある学校にしたいと思います。

与六郎が屋敷を構えた場所と なっています。二人は利根川から取水している天狗岩用水を苦勞を重ね延長し、滝川用水を引き、玉村町を水田地域へと導きました。玉村高校は、そのチャレンジ精神を受け継ぎ、さらに進化・深化をとげようとしています。



学校生活

学校生活の充実

玉村高校は前述したとおり、「ぐんまチャレンジ・ハイスクール」に指定されています。高校独自の教養表現という教科を導入し、コミュニケーション力育成に力を入れていきます。そのため、発表活動に力を入れ、本を紹介するコミュニケーションセッションゲームであるビブリオバトルやボランティア発表会を1年生で行います。2年生になると、町教育委員会の全面的バックアップのもとインターシップを実施。その報告会が行われます。3年生では、地域の課題などを研究し発表する課題研究発表会を行います。

また、異学年交流として、上級生は下級生に先輩としてのアドバイスを話したり、高校のキャッチコピーと一緒に考えたりして、活発な交流が行われています。その結果、人とのつながりが増え、学校生活が充実したものになり、令和2年度の生徒会の役員選挙では、定員9人のところ、16人が立候補する結果になったのもうなずけます。先生の熱心な指導で学力も向上し、成績優秀者が令和2年度末では、前年度より18%増加しました。



真剣に授業に取り組む生徒たち



玉高キャッチコピーを自ら考える様子



◁熱心に生徒と向き合う先生



部活動

新しい世界へ翔ける

今までは人数が少なくてできなかった部活動も環境を整備することにより、部員が集まるようになっていきます。近年野球部は単独チームで大会に出場することはできませんでしたが、今年度は単独で大会に出場できるようになりました。吹奏楽部も吹奏楽コンクールに復帰することができ、サッカー部は15人部員があり、大会に向けて日々切磋琢磨しています。仲間との絆を育み、試合ではどんな状況でも最後まであきらめずに頑張っています。

また、玉村高校では、今まで経験したことのない種類の部活動を選択する生徒も多く、チャレンジしてみようとする風土となっています。さらに、地域の清掃など地域貢献を行い、部活動以外でも活躍している部もあります。野球部顧問の五十嵐先生は「部活動をとおしてさまざま人と出会うことが財産。この先、社会へ出ていくことになっても、人とのつながりを大切にしていれば、人生の中でプラスになることが多くある」と話します。さまざまなかたちを経験することで、これから先の人生にとってプラスになることは間違いないでしょう。

Interview

雰囲気の良い部活



なかの れん
サッカー部部长 中野 蓮さん(3年生)

サッカー部は部員15人とマネージャー3人で活動しています。平日は練習をし、土・日曜日は試合などを行っています。以前は卓球を経験していましたが、高校からサッカーを始めました。日頃から雰囲気良く部活を行っています。3年生が中心となって、後輩のお手本になるように引っ張っていきたいです。

Interview

単独チームで大会出場を



こんどう かいと
野球部部长 近藤 海翔さん(2年生)

野球部は部員8人とマネージャー1人で活動しています。平日は練習をし、土・日曜日は試合などを行っています。小学校3年生から野球をしています。今年度の春の大会で合同チームながら、2回戦を突破しました。次の大会では単独出場で初戦を突破したいです。

吹奏楽部



バスケットボール部



新たなチャレンジ 生徒会



生徒会役員メンバー



朝のあいさつ運動



花いっぱい運動

Interview

成長できる高校

桜春さん

生徒会では朝のあいさつ運動を毎週月曜日に行っており、あいさつで学校が明るくなるよう心がけています。また、高校を花いっぱいにし、きれいな学校になるような活動に加え、行事の運営や司会なども生徒会の役割です。

今まであまり目立たない存在でしたが、「変わりたい」気持ちで生徒会長に立候補しました。活動などの学校生活で、信頼できる仲間や先生に出会えて本当に良かったと思っています。



生徒会会長
桜春 凛さん(3年生)



生徒会副会長
阿部 倫華さん(3年生)

阿部さん

玉村高校に入って成績が向上しました。また、マナー向上など社会の常識が学べますし、将来やりたいことも見つけることができました。

玉村高校が好き

生徒に部活動や高校が好きかと話をすると口々に「好きだ」と答えてくれます。生徒会長の桜春さんは、「新型コロナウイルス感染症で休校や分散登校を強いられてしまいました。制限解除後に全員で学校に登校し、仲間や先生に会ったときはうれしかったです」と話してくれました。

実際の調査でも、学校を好きだと感じている生徒が増加傾向にあります。令和2年度末で前年度比11%増の75%が、学校を好きと感じています。

高校生活に悩みを抱え、転学などをしてしまう生徒も少なからずいます。ただ、この高校には、信頼できる仲間や先生がいます。アドバイスをもらい、悩みを解決できた生徒もいるでしょう。その結果、転退学者は、前年度と比べ減少傾向となりました。確実に高校の環境が良くなっていることがうかがえます。

地域の象徴 来年創立100周年

学校生活を玉村町で過ごす生徒たちは、日々勉学に、部活動に一生懸命取り組んでい

ます。現在は、少子化の影響もあり、入学する生徒が少なくなりつつあります。時代の流れではありますが、高校の実情を知らずにイメージが先行している場合もあるかと思えます。地域に高校があり、にぎわいがあるということは、町のにぎわいに直結します。いわば地域の象徴として玉村高校はあるといえます。

そんな玉村高校も来年10月1日に創立100周年を迎えます。財政難での廃校危機、新型コロナウイルス感染症による活動の制限など、さまざまな困難に直面しても、100年地域に存在したということは、地域にとって誇るべきことではないでしょうか。来年の100周年では、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、記念式典が盛大に開催されることを願ってやみません。

これまで、玉村町民でつくりあげてきた玉村高校。町に存在すること自体知らない人もいたかと思えます。これからは「今日も元気に登校しているな」とか「夕方でも部活頑張ってるな」など、少しでも良いので、玉高を「気にかけてみて」ください。



玉村高校ホームページ



玉村町には、こんなに一生懸命で、
自分を探そうとしている若者がいる。